

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 館山市の取組基本方針

【目的】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」）の開催決定を受け、大会の成功に向け関係都市等と連携・協力するとともに、本市の魅力の一つでもある館山湾をはじめとする豊かな自然環境や既存施設などを最大限有効活用し、事前キャンプ誘致などスポーツ観光を推進することにより、未来の市民が誇りに思うレガシー（遺産）を創造し、継続的な本市の活性化を図る。

【取組の方向性】

◆事前キャンプ等誘致

館山湾をはじめとする自然環境や既存施設などを最大限有効活用し、これらの施設で対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進め、国内はもとより世界に情報発信し、本市をPRする。PRを通じて、トップアスリートのみならず愛好家まで幅広い層のスポーツキャンプ誘致等につなげる。

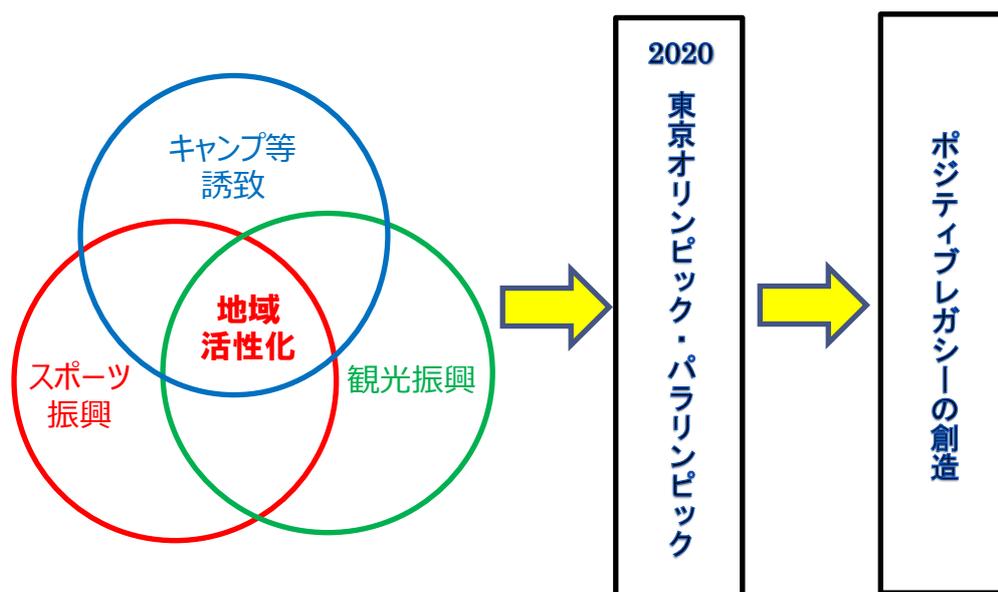
◆スポーツ振興

オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に、スポーツへの関心を高め、市民の健康保持増進、体力向上、競技力向上を図る。

◆観光振興

オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に、国内外の観光客を呼び込み、本市の経済の活性化を図る。

【基本方針イメージ】



【推進体制】

東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部

本部長 田村悦智子

副本部長 和泉澤 薫

本部長 館山市スポーツ推進委員連絡協議会選出委員，館山市体育協会選出委員，館山市観光協会選出委員，館山商工会議所選出委員，館山市町内会連合協議会選出委員，館山船形漁業協同組合選出委員，館山市議会選出委員，学識経験者，経済観光部長，教育委員会教育部，その他本部長が必要と認めた者

オブザーバー 県議，市長，副市長，教育長

キャンプ等誘致部会 部会長：教育委員会教育部

館山市体育協会，館山市観光協会，秘書広報課，企画課，情報課，観光みなの課，スポーツ課，その他部会長が必要と認めた者

スポーツ振興部会 部会長：教育委員会教育部

館山市スポーツ推進委員連絡協議会，館山市体育協会，館山ファミリースポーツクラブわかしお，健康課，社会福祉課，高齢者福祉課，教育総務課，スポーツ課，その他部会長が必要と認めた者

観光振興部会 部会長：経済観光部長

館山市観光協会，館山商工会議所，秘書広報課，企画課，情報課，農水産課，雇用商工課，観光みなの課，その他部会長が必要と認めた者

※専門部会等の体制は必要に応じて変更・追加・参加。

【取組の内容】

◆事前キャンプ等誘致

- ・練習施設や宿泊施設，医療体制，警備体制，通訳ガイドなど受入環境の整備
- ・事前キャンプ候補地ガイドへの応募及びHPやパンフレット等によるPR
- ・競技団体や競技関係者等を通じた事前キャンプ誘致活動
- ・国際大会や日本選手権など大規模大会の誘致活動

◆スポーツ振興

- ・既存スポーツ教室やスポーツイベントの内容の充実
- ・「する」「みる」スポーツに加え、「支える」スポーツの育成及び普及
- ・体育施設の利便性の向上
- ・オリンピック・パラリンピック競技大会ボランティア募集への協力

◆観光振興

- ・公衆無線LAN，多言語案内板，外国語ボランティアガイドなど外国人観光客の受入環境の整備
- ・食，体験など観光資源を活かした新たな集客策の構築
- ・交通アクセスの向上

【展望】

◆レガシーの創造

- ・事前キャンプ等をきっかけに競技団体（市内・市外・県外・外国）との関係づくり
- ・2020年後の各種大会やチームキャンプ等による新たな関係づくり
- ・2020年を目指した商品開発。さらにはその後も定着する商品づくり

- ・〇〇事前キャンプ地としてのPR効果+館山の魅力（自然・人・時間距離・食等）
↓
リピーター・交流人口の増加，定住促進に期待

- ・スポーツボランティアを育成し，2020年大会の他，若潮マラソン・タテトラなど市内イベントでの活躍

- ・大会にスポーツボランティアとして，市民の積極的な参加
→人づくり，生きがいづくり
→大会のホスピタリティの向上，魅力アップ
→世界的イベントへの貢献

- ・館山の自然や既存施設を活用することを前提としながらも，大会及びその後の利活用が見込める施設等に対する整備改修

【改定】平成28年4月1日（組織改編による職・課名の変更）

平成29年4月3日（組織改編による職の変更）

平成30年4月2日（組織改編による職・課名の変更）